

会 議 録

| | | | |
|------------------------|--|---------|----|
| 会 議 名 | 小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会（令和4年度第2回） | | |
| 事 務 局 | 生涯学習課 文化財係 | | |
| 開 催 日 時 | 令和4年10月7日（金）午前10時から11時30分 | | |
| 開 催 場 所 | 第二庁舎8階801会議室 | | |
| 出 席 委 員 | 亀山章委員長 椎名豊勝委員 伊東孝委員 小野良平委員 | | |
| 欠 席 委 員 | なし | | |
| 出 席 職 員 | 関生涯学習課長 碓井文化財係長 高木文化財係主任（学芸員） | | |
| 傍 聴 の 可 否 | 可 | 傍 聴 者 数 | 0人 |
| 傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由 | | | |
| | <p>1 議 題</p> <p>(1) 令和4年度の整備事業について</p> <p>(2) 令和4年度生育状況調査について</p> <p>(3) 令和5年度以降の事業計画について</p> <p>(4) 名勝指定100周年記念事業に向けて</p> <p>2 配付資料</p> <p>名勝「小金井（サクラ）」整備事業 令和4年度</p> | | |

会 議 結 果

| | |
|-----------|---|
| 関生涯学習課長 | <p>おはようございます。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。只今から、令和4年度第2回玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会を開催いたします。</p> <p>なお、本日伊東委員より少し遅れられるとのご連絡をいただいております。</p> <p>委員会の議事進行につきましては、亀山委員長にお願いいたします。</p> |
| 亀山委員長 | <p>それでは早速始めさせていただきます。</p> <p>「議題(1) 令和4年度の整備事業について」についてご説明をお願いします。</p> |
| 高木主任(学芸員) | <p>1 議題</p> <p>(1) 令和4年度の整備事業について</p> <p>整備事業に関するご説明に先立ち、まず小金井桜の現状についてご説明させていただきます。</p> <p>小金井桜の管理者である東京都教育庁に現状を確認したところ、令和4年3月時点で、小金井市を含む4市に跨る名勝小金井(サクラ)全体で、約880本の桜がございました。</p> <p>市内に目を向けますと、枯死した桜を除く既存木の古木が301本、この整備期間内に植樹した若木・苗木は240本、計541本がございました。</p> <p>参考に、名勝小金井(サクラ)全体の本数に占める小金井市域の桜の本数の割合は、全体の6割以上となります。</p> <p>それでは、今年度の整備事業をご説明させていただきます。</p> <p>本事業は、平成22年度より整備が進められており、苗木の補植が進む傍らで、整備が一定完了した区間においても、残念ながら既存木である古木の枯死が進んでおります。これまでの12年間の整備事業の効果をより高めて、名勝景観の維持を図っていくためには、欠損箇所にも苗木の補植を行う必要があると考えております。</p> <p>整備内容につきましては、今回は、既存木の欠損等に対する補植として、ヤマザクラの苗木を10本、植栽することといたしました。</p> <p>事務局では、整備が一定完了した小金井橋～新小金井橋区間において、現地の状況を踏まえて、新たに26本の補植が必要であると判断しているところです。ただし、今後植栽する場所を決めるに当たっては、いくつかの課題が生じております。</p> <p>まず、枯死が疑われるサクラの近くに植栽を行う場合、現在、古木、若木含めて枯死が疑われるサクラが7本確認されています。</p> <p>東京都において、今後、枯死の判定状況を進めていただく予定、ということですので、その結果を踏まえまして、枯死が疑われるサクラの近くにどのように植栽を行っていくのか、そのタイミングを検討してまいりたいと考えております。</p> |

| | |
|------------------|---|
| | <p>新小金井橋付近では、外来植物のニセアカシアが林立しております。その防除を踏まえながら、令和4年度植栽する10本をどこに植えていくか、その細部の調整につきましては、今後東京都と詰めてまいりたいと考えております。</p> <p>つきましては、補植候補26本について、本日の本委員会でご承認をいただき、その上で、東京都との最終調整に入りたいと考えさせていただいております。</p> <p>その後、確定した場所につきましては、令和5年2月頃開催の本委員会での場でご報告いたします。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>ありがとうございました。</p> <p>要するに、まず、26本植える必要がある。この26本については、既存木で枯れてしまったものと、整備事業の中で植えたもので枯れてしまったものがある、ということよろしいでしょうか？</p> |
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>整備事業の中で植栽したもので枯死してしまったものは含んでおりません。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>わかりました。26本は既存の古木のうちで枯死してしまったものの本数、ということよろしいですね。</p> <p>それでは、整備事業の中で植えたもので枯れてしまったものはどれなのでしょう？</p> <p>植栽木のうち、枯死したもの、または枯死が疑われるものは何本くらいあるのですか？</p> |
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>地図上矢印で指してある小さな丸で示した箇所になります。</p> <p>— 資料説明 —</p> <p>新小金井橋付近ですと、「KS43」「KS1」「KS45」、このような所が、枯死が疑われますので、枯死判定された暁には植替えを実施する、という考え方で、補植の26本の中には含めておりません。</p> <p>この区間で枯死したもの、または枯死が疑われるものは、合わせて7本になります。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>既存木で枯死してしまったものは26本ではないのですか？</p> |
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>26本、と言いますのは、整備事業開始前も含めた、この数十年の間に枯死した既存木の総数になります。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>では、26本、というのは、かなり長期に渡ってずっと枯れているものの本数、ということですね。</p> |
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>はい。</p> |

| | |
|------------------|---|
| <p>椎名委員</p> | <p>この話については、概念をもっとしっかりと分けた方が理解しやすいと思います。</p> <p>例えば、「古木」「若木」とありますよね。例えば、平成22年度以降の整備事業において植栽した若木を「平成令和植栽」と呼ぶとか。</p> <p>と言いますのは、「●年度に植栽したものがどのくらい枯れたのか。」という「枯損率」の数字はきちんと出した方がいい、と考えるからです。</p> <p>「いくら植えてもどんどん枯れてしまう。」などと言われてしまっていますが、そういう抽象的なものではなく、具体的な数字としての「枯損率」はきちんと持っておいた方がいい、というのが1つ、それともう1つは、枯死した既存木については、おそらく根が道路部分にもかかっている、同じ場所に補植する、ということは事実上難しいですよね。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>一概にそう言い切ることはできなくて、確かに道路付近にある枯死した古木については椎名委員のご指摘通りなのですが、道路から離れた部分にある枯死した古木については、その近くには補植したい、と考えます。</p> |
| <p>椎名委員</p> | <p>東京都水道局が管理している敷地内については、桜の生育に十分なスペースがある環境と言えるので、枯死した古木の近くに補植すべきと言えます。</p> <p>ですから、その辺の考え方をきちんと整理した上で統計を出していかないとまずいのでは、と考えます。</p> <p>「古木」と「若木」の呼称については、どの時点を分岐点とするのか、今回の場合は整備事業開始時点の平成22年度でよいと考えますが、そして若木が枯死した場合は、枯損率が大きなポイントとなり、例えば天候不順のような天変地異が原因として考えられるのか、或いは植樹業者の問題のような人為的な要素が原因として考えられるのか、そういった部分と、既存木の場合は、亀山委員長がおっしゃられたように、東京都水道局が管理している敷地内にあり、近くに補植できるのか、或いは、道路の近くにあり、付近への補植は困難なのか、そういった部分の整理は、東京都教育庁はおそらく行っていなくて、むしろ小金井市に任せているようにも見受けられるので、そういった部分をきちんと整理した上での数字の把握、そしてその数字を基にした解析を行い、その結果を今後の育成のために情報として生かす、ということが必要だと思います。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>そうですね。そのような整理は必要だと思います。</p> <p>ちなみに、古木には番号のようなものは付いているのでしょうか？既に枯れてしまっているものには番号はないと思うのですが。</p> |
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>古木には、1本1本に付されている番号があり、枯れてしまったもの</p> |

| | |
|------------------|--|
| <p>亀山委員長</p> | <p>については、その番号は欠番、という形になります。</p> <p>ただし、今回の整備事業においては、補植した若木についても、新たに番号を付け直しています。</p> <p>その手法だと、新たに補植した木と古木を、どのように見分けるのでしょうか？最近枯れたものについては、データを持ち合わせているかもしれないが、ずっと前に枯れてしまったものについては、見分けがつかないのでしょうか？切株等の存在を頼りに探っていくのでしょうか？</p> <p>そして、先ほど言っていた「26本」という数字は、そのような枯死してしまった古木の近くに補植したいと考えている本数、ということでしょうか？</p> |
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>説明が足りておらず申し訳ございません。</p> <p>補植につきましては、基本的には欠損木の部分と、フェンスの中に、新たに並木を再生する、という2つのコンセプトを考えております。</p> <p>その結果、適切な間隔を取っている場所に補植を行っていく、ということを考えておりますので、そちらにつきましては、新たな並木の形成のための植栽、という考え方になります。</p> <p>平成22～24年度に、最初に整備を行ったモデル区間において、基本的に10メートル間隔、8メートル間隔で補植を行ってきた、それを参考にしております。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>モデル区間の整備においても、以前は木があったが、いつの時代にか枯れてしまったことによって空いた隙間の部分に、植栽を行っていた。</p> <p>ただ、当時は古木とか、既存木といった概念はまだなく、ただ隙間があるから植栽を行ってきた。</p> <p>これはやはり、椎名委員のご指摘の通り、一定の整理が必要だと思います。</p> <p>古木と補植した若木とが混在していて、住所番地のようにきちんと所在地が決まっているわけでもなく、隙間に適当に植えて、新たに植えた苗木に新しく番号を付番していくような手法を取っているのです、それを整理していく、というのはかなり大変だろうとは思いますが。</p> |
| <p>椎名委員</p> | <p>これはすごく難しいと思います。東京都水道局も本当に大変だろうと思います。</p> <p>元々、古木に付番されていた番号があり、枯死して伐採したものについても、切株の部分にその番号が残っていて、まずそれを調査・整理する必要があります。</p> <p>ただ、切株でも「形」が残っているものはまだ良いが、全く「形」が残っていないものもあるので、「調査」も一筋縄ではいかないと思います。</p> <p>古木、と言っても元気なものもあるので、その内側に新たな若木を補</p> |

| | |
|------------------|---|
| <p>亀山委員長</p> | <p>植するわけにもいかないですし、法面のケヤキ等を伐採したことで、水路付近に新たな萌芽が再生し始めていて、元に戻りつつある、という状況もあり、それにどう対応していくのか、という問題もあります。</p> <p>そういった点も含めて、やはり独自のデータを持った方がいいと思います。</p> <p>もちろんとても大変ですが、まず小金井市がやることによって、他の沿岸市でもできてくるのでは、と思います。正直、他の沿岸市は、小金井市よりもさらに状況は整理できていないだろうと思いますので、やはり、まず小金井市でしっかりとしたフォーマットを作成した方がよいのでは、と思います。</p> <p>令和4年度に10本の補植を行うこと自体は全く問題ないと思います。ただし、データの台帳のようなものの整理はやはり行っておく必要がある、と思います。</p> |
| <p>小野委員</p> | <p>本委員会は、毎年度定期的に会議を開催しており、その中このような資料を毎年度ご提示いただいているが、毎年度出てくる資料の形式が統一されていないように感じており、情報がきちんと蓄積されていないように感じている。</p> <p>既存木と新たに補植した木の区別はもちろんのこと、新たに補植した木の1本1本が、いつ補植を行ったものなのか、そして年度毎に枯死してしまった木はどれなのか、といったデータが蓄積されていくと、非常にわかりやすいのではないかと、思います。</p> <p>これは以前にもお伺いした気がしていますが、この図は何のソフトで描いているのでしょうか？GISを使ったりしているのでしょうか？</p> |
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>図面は、東京都が作成した樹木図になります。測量結果によるもの、と伺っております。GISとは異なるものと思われれます。</p> |
| <p>小野委員</p> | <p>では、東京都から受け取っている原本は、データではなく紙ベースのもの、ということでしょうか？</p> |
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>測量の手法については東京都からは伺っていませんが、PDFデータでいただいています。ただし、原データの形式については不明です。</p> |
| <p>小野委員</p> | <p>測量を行っている、ということは、おそらく樹木の位置もデータ化されている、ということですね？</p> |
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>そうですね。補植を行った都度測量を行う、ということではなくて、東京都としても定期的に測量を行い、樹木図を更新していく、その中で、当然に枯死したものは消えていき、補植されたものが小さな丸印で増えていく、という形になります。</p> |

| | |
|------------------|--|
| <p>亀山委員長</p> | <p>今、小野委員が言われたのは、ベースになっている地図は、測量を行った上で作成しているのですが、通常のGISデータのように、1本1本の樹木の位置が緯度・経度で示されるようになれば、この図面の形は不変のものとなる。紙ベースの地図というものは、精度の問題があるので、結構変わってしまう。ですので、永遠に変わることのない、緯度・経度のデータを持っていれば、その樹木の場所は確定することができる、という話だと思います。</p> |
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>申し訳ございません。測量調査に関する詳細な確認はできておりませんでしたので、至急東京都に確認させていただきます。</p> |
| <p>椎名委員</p> | <p>例えば公園等でも、管理者はそこまで細かくは把握していないだろうと思います。 ただ、小金井桜については、きちんとしておく必要があると思います。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>現在、東京都は街路樹について、50万本以上の都内全域すべての街路樹をGISデータ化する、という取組を行っています。 4～5年程度の事業期間を見込んでいますが、それを行うと都内のすべての街路樹を緯度・経度で台帳を作成することができ、成長量や管理の状態について知ることができるようになる。 そうすることで、都市計画図のようなベースの地図が変わる可能性は出てくるが、きちんと位置を押さえることができるようになるので、やはりGISデータ化しておく、ということは必要だと思います。 もし、小金井桜に関してはGISデータがない、ということであれば、作る、というのも1つの手ではあります。 東京都の街路樹データは、そのために一定のシステム開発は行っていますが、自動車に専用の機械を据え付け、その自動車で道路を走ってすべての街路樹を撮影し、同時に緯度・経度を押さえる、というシステムになっており、現場調査後、結果データを元に、都市計画図等の地図データに落とし込む、という手法を用いています。</p> |
| <p>小野委員</p> | <p>そのような手法もあると思いますし、樹木ですから、精度の高い空中写真があれば、それを元に緯度・経度を押さえる、ということも可能だと思います。</p> |
| <p>椎名委員</p> | <p>手法はそれなりに開発されていると思います。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>東京都が用いた、自動車を活用する手法は割と簡便だと思います。街路樹、ということもあり、幹線道路を走らせているだけでデータを取ることができました。</p> |

| | |
|-----------|--|
| 椎名委員 | そういう点では、やはり東京都に対して調査を要望していく、というのが現実的だと考えます。やはりそういう観点は必要だと考えます。 |
| 亀山委員長 | 東京都に相談されてみてはいかがでしょうか？ |
| 椎名委員 | 桜の場合、扁平に成長する、という場合もあるので、多少緯度・経度がずれる、ということはあると思います。ただ、近似値ですので、おそらく大丈夫であろう、と思います。 ですから、そのような観点から管理を見直す、ということは必要だと思います。その上で、「平成●●年植栽の樹木」等の分類をきちんと行えば、ヤマザクラの成長にとって重要なデータを得ることができると思います。 |
| 亀山委員長 | それでは、本件につきましては、データ収集をきちんと行った上で、令和4年度の10本の補植は引き続き行っていく、ということによろしいでしょうか？ |
| 高木主任(学芸員) | 本日委員の皆様よりいただいたご意見につきましては受け止め、東京都にも小金井市の考え方を伝えていきたいと思っています。 |
| 椎名委員 | 先ほどの話ですが、小金井桜は全体で約880本、というのは4市全体での本数でしょうか？そして、古木、若木すべてを含めた本数でしょうか？ |
| 高木主任(学芸員) | 4市全体の本数になります。そして、古木、若木すべてを含めた本数であり、若木は小金井市内以外には存在していないので、小金井市内の若木240本を引いた、640本が現存している古木の本数となります。 |
| 椎名委員 | 古木の本数が随分と減ったな、という印象です。古木の枯死が進行している、ということですね。 |
| 亀山委員長 | だからこそこの事業は意味がある、ということだと思います。 |
| 椎名委員 | それにしても少し心配な数字であり、事業を急ぐ必要があると思います。 |
| 亀山委員長 | それでは、本件は以上でよろしいでしょうか？ |
| (委員全員) | (異議なし) |
| 亀山委員長 | それでは、次に「議題(2) 令和4年度生育状況調査について」につい |

| | |
|-----------|---|
| 高木主任(学芸員) | <p>てご説明をお願いします。</p> <p>(2) 令和4年度生育状況調査について</p> <p>生育状況調査は、以前、平成29年に1回目を実施しております。その後5年が経過し、定期的な生育状況の確認が必要である、ということは本委員会においてもご指摘をいただいておりますので、今回、第2回の生育状況調査として実施するものです。</p> <p>調査の対象範囲につきましては、当然「小金井市域」となります。調査対象といたしましては、平成22年度以降に植栽した220本となります。既存木は対象とはしておりません。実施時期は、5年前の1回目の時と同じ冬季とします。</p> <p>実施主体は市となりますが、調査の主導につきましては、5年前と同様に亀山委員長をお願いさせていただきます。その他、調査体制、人員の関係や、具体的な実施日、段取り等の詳細につきましては、今後、亀山委員長と調整を進めてまいります。調査体制につきましては、外部の専門家や、市民の方にご協力をいただくことも想定しているところです。</p> <p>説明は以上です。本件につきましては、今後亀山委員長と調整させていただきます。</p> |
| 亀山委員長 | <p>本調査につきましては、5年前に第1回を実施した際は特に亀山主導だった、というわけではなく、本委員会の委員の皆様をお願いさせていただいた、と認識しています。ですので、窓口としては委員長の亀山で構いませんが、実際の調査は、ご協力をいただける皆様と一緒にっていく、というのが基本かな、と考えていますが、それではよろしかったですでしょうか？</p> |
| 関生涯学習課長 | <p>前回、平成29年度に調査を実施した際には、市教育委員会の事業として、予算措置を行った上で実施した事業であると認識しております。</p> <p>その事業を履行するに当たっては、専門家である本委員会の委員の皆様にお力添えをいただいた、と認識しております。</p> <p>令和4年度に実施する調査につきましても、当然に市の事業として履行するものでございます。で、履行するに当たりまして、亀山委員長にご協力をお願いさせていただき、そして結果的に、委員会にお力添えをいただくこともあるかもしれませんが、その場合は、事業の進捗の中で、正式にご依頼をさせていただく形になるものと認識しております。</p> <p>結論を申し上げますと、令和4年度に実施する第2回調査につきましては、平成29年度に実施いたしました第1回調査の際と同様のスキームで行うものとの認識を持っております。</p> |
| 亀山委員長 | <p>調査結果についての意見の取り纏め等は亀山が担いますが、基本的には、本委員会が関わって業務を履行していく、という形にしておく必要</p> |

| | |
|------------------|---|
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>はあると考えています。</p> <p>具体的に「いつ、何をやるのか。」といった部分は、今後詰めていく形になると思いますので、スキームとしては、只今生涯学習課長からご説明いただきましたように、平成29年度に実施した第1回調査の際と同じ、ということでしょうか？</p> <p>本件につきまして、他に何かございますか？</p> <p>平成29年度に実施した第1回調査の際は、調査本数は170本弱でしたが、その後の5年間の中で本数も増えて、令和4年度実施の第2回調査におきましては、調査本数は240本になりますので、手順等事前にしっかりと考えていきたいと思っております。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>本数が増えるのですね？</p> |
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>本調査は、生育状況調査となりますので、基本的には「木の高さ」「幹回り」「枝の入り方」の3点を調査していきます。枝葉の伸び方につきましては、東西南北それぞれが係っていくことは、第1回調査の際と変わりはありません。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>平成29年度の第1回調査の際には、結果的には生育状況は植樹年度によって差が大きかった印象です。それがなぜか、まではわかりませんでした。</p> <p>その時の苗木の状態や、天候等、様々な要因があったのでは、と推察していますが。</p> <p>何にしても、令和4年度に第2回の生育状況調査を実施する、ということで、本件につきましては以上でよろしいでしょうか？</p> |
| <p>(委員全員)</p> | <p>(異議なし)</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>それでは、次に「議題(3) 令和5年度以降の事業計画について」についてご説明をお願いします。</p> |
| <p>関生涯学習課長</p> | <p>(3) 令和5年度以降の事業計画について</p> <p>それでは、「議題(3) 令和5年度以降の事業計画について」につきまして私の方から口頭にてご説明させていただきます。</p> <p>令和5年度以降の「名勝小金井(サクラ)復活事業」の展望につきましてご説明させていただきます。</p> <p>令和4年度の事業につきましては、本日ご審議いただきました通り、既整備区間の補植等を行うところで、今後準備を進めて参るところでございます。</p> <p>平成22年度より本事業を開始し、10年以上が経過した事業でございます。この間、多くの方のご理解・ご協力を賜り、円滑に事業を進め</p> |

| | |
|----------------|--|
| <p>亀山委員長</p> | <p>ることができたと認識しております。</p> <p>本日の議事の中でもご意見をいただきました通り、ここまでの事業の進捗に関する、データ管理も含めた適正な管理、状況の把握の重要性についてご指摘をいただいた、と考えておりますので、現状を踏まえた上で、令和5年度以降も進めて参る、というところです。</p> <p>今後は、未整備区間における補植を進めていくところですが、他市の区域にも跨る部分になりますので、今後も引き続き、東京都の全体調整の下、他市とも連携し、丁寧に事業を進めて参りたいと考えてございます。</p> <p>説明は以上です。</p> <p>大変簡単な説明でしたが、要するに他市との連携が必要、ということですが、他市については、「桜の木を植えるために他の木を切るのはいかがなものか。」といった、本事業に対する慎重なご意見をお持ちの市も多く、市長名で東京都知事に対する要望書を出した市もありましたよね？</p> |
| <p>関生涯学習課長</p> | <p>未整備区間につきましては、距離的には小平市と跨る部分が大きいのですが、委員長からご指摘いただきました通り、市によってそれぞれの考え方があり、小平市が、令和2年に市長名で東京都知事に対する要望書を出されたところです。背景にあるのは、生物多様性を踏まえた上で、事業を丁寧に、理解を得られる形で進めて欲しい、という趣旨であったと認識しているところです。</p> <p>先ほど、「東京都の全体調整の下、他市と連携し…」というご説明をさせていただきましたが、まさにその部分で、今後未整備区間の整備を進めていくに当たっては、小平市、武蔵野市、西東京市を含めた他市と歩調を合わせていかなければならない、と考えているところです。</p> <p>ただ、現状では、正直事業を進めていく、というところまでは至っておりません。ここは、引き続き東京都の全体調整の下、小平市、武蔵野市を含めた他市と連携し、ご理解をいただきながら進めていかなければいけない、と考えております。</p> <p>現状は正直厳しいと言わざるを得ませんが、引き続き丁寧に説明させていただきながら進めていければ、と考えております。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>市民等から、本件について市議会に要望が出ている、という話はあるのでしょうか？</p> |
| <p>関生涯学習課長</p> | <p>令和3年に、本事業について、市議会に「もう少し生物多様性の保全に配慮した事業の進め方をして欲しい。」という趣旨の陳情が提出されています。桜の苗木の補植事業自体に反対する趣旨のものではない、と理解していますが、事業を進めるに当たっては、他の生物、植物の生態にも配慮して欲しい、という趣旨のものでした。</p> |

| | |
|----------------|---|
| | <p>そして、それに対する市側の答弁としては、「決して他の樹木を被圧しない程度の剪定・伐採に留める。」という点では、これまでもその他の樹木にも配慮した形で事業を進めてきた、という点と、今亀山委員長からもご指摘をいただきましたが、「桜を中心とした多様な植物からなる生物多様性」という部分は、本事業においても目指しているところもごございますので、その辺の理解を深めていく、という部分は、今後必要になってくるのかな、とは思いますが、現状、市議会においては、「もう少し丁寧に進めるべき」という慎重なご意見と、「この事業を引き続き進めていくべき」というご意見とが両立している状況です。ただし、「推進派」の議員の方々からも、「多様な考え方を十分に尊重しながら進めていくべき。」というご意見はいただいているのかな、と考えております。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>その点については、市としても椎名委員に植生調査を依頼する等の事業を行い、野草の状態等もきちんと把握しながら事業を進めているわけで、十分配慮して進めている、と考えています。</p> <p>ただし、行政側はそのような事実について、あまり声高に主張することはない一方で、いわゆる「慎重派」の「生物多様性の保全を」と強く主張してくる、という状況はどうしても生じてしまう。行政側も、本事業を進めるに当たっては、「生物多様性の保全」への配慮は十分に行っているわけで、その点はもっと主張してもいいのでは、と個人的には思います。</p> |
| <p>関生涯学習課長</p> | <p>その他樹木の剪定・伐採を行うに際しては、いわゆる「慎重派」の団体の方々とも一緒に現場に行き、そのエリアのその他樹木を今後どのように処理していくかについて話し合いながら事業を進めている、という部分もあります。もちろん、話し合った結果として、「慎重派」の方々のご意向に沿えないこともあります。そういった意味では、市としては、決して一方的に事業を進めているわけではなく、必要に応じて話し合いを行いながら進めてきた、と考えているところではございますが、やはり色々なご意見はあるかとは思いますが、なかなか着地点を見出すことは難しい状況ではございますが、我々といたしましては、「文化財保護」という立場もございまして、今後も丁寧に、ご理解をいただきながら進めてまいりたい、と考えております。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>本事業においては、「文化財保護」という観点と、「生物多様性の保全」という観点は、それほど矛盾してはいない、と考えており、むしろ、本事業を進めていくことは、結果的には「生物多様性の保全」にもプラスに寄与している、という事実は、草本調査等の結果として明確に出てきているはずなのですが、もう少しその辺の事実が明確に示されるといひかな、と思います。</p> |

| | |
|------------------|---|
| <p>椎名委員</p> | <p>武蔵野市については、確か啓発活動にかなり力を入れていた、と記憶しているのですが、その後どのような状況なのでしょう？</p> |
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>他市の状況につきましてわかる範囲でご説明させていただきますと、ここ近年、「玉川上水」「小金井桜」をテーマとした企画展を行ったり、令和3年には亀山委員長を講師に招き、講演会を実施するなど、徐々にではありますが、スポットを当ててきたのかな、という印象は受けています。</p> |
| <p>椎名委員</p> | <p>小平市については、最近市長が変わったので、まだ方向性が見えない部分もあります。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>もう少し、きちんと史跡・名勝区間の実態を捉えた上で議論ができれば良いと思います。</p> <p>あと、「史跡の保存」という観点に立つと、武蔵野市エリアは、玉川上水の法面があまり大きくないので、法面に生えてくるその他樹木については、あまり気にはならないですが、小平市エリアについては、法面が非常に深く、大きいので、将来的に大規模な法面崩壊が起きてしまうリスクが高く、史跡保存の観点からも早く伐採して何とかしなければならない、と思います。その点については、史跡指定を受けた後に、東京都が策定した保存管理計画等でもきちんと指摘されているのですが。ですから、東京都水道局としては同計画に基づき、伐採を進めていきたい、と考えてはいるのですが、それもなかなか進められずに困っている、というのが実態なのではないか、と受け止めてはいるのですが、それではこのまま放っておいていいのか、ということでは決してなく、このまま放っておけば、将来的には史跡そのものが大きなダメージを被ってしまう可能性が非常に大きい。</p> <p>現状法面上に存在しているケヤキは、すぐに枯れることはおそろくないと思われるので、すぐに大きな問題になることはないと思うが、ケヤキは成長すると非常に高木となるので、将来老木化した際には非常に大きな問題になることは間違いないし、そうなってから対応する、という話ではもはや手遅れだと思います。</p> <p>ですから、今のうちから対策を講じる必要がある、と強く思います。</p> |
| <p>小野委員</p> | <p>本事業に慎重なご意見をお持ちの方たちの間では、玉川上水・小金井桜の史跡・名勝指定を解除して欲しい、という旨の話は出ているのでしょうか？</p> |
| <p>関生涯学習課長</p> | <p>そこまでの主張はされていません。名勝「小金井（サクラ）」の整備事業自体に反対する、というスタンスではなく、一定の管理自体は必要、というご意見はお持ちです。ただ、その中で、サクラの木を守るためにその他樹木を伐採する、という行為に対する考えについては、やは</p> |

| | |
|----------------|---|
| <p>小野委員</p> | <p>り少しスタンスが異なるのかな、という認識を持っています。</p> <p>慎重派の方々が、「生物多様性の保全・自然保護が何よりも大事で、それを守るためであれば、文化財が犠牲になるのは止むを得ない。」という境地まで肝が据わっているのであれば、また話は違ってくると思いますが、そこまでではないのであれば、「史跡」はとにかく、「名勝」がどのような考えに基づいて指定されているものなのか、というのは、文化財に詳しい方以外には、やはり少々わかり難い、というのはあると思いますので、まずは「名勝」の意義や価値についてきちんと伝えていく、ということと、サクラ並木、と言っても桜だけが植生している、ということでは決してなく、野放図にケヤキが生い茂っている空間よりも、むしろ豊かな生物多様性が実現できている空間と言える、という部分を丁寧に伝えていく、ということが大切なのでは、と考えます。</p> |
| <p>関生涯学習課長</p> | <p>今、小野委員からご指摘をいただいた通りで、市といたしましても、これまでの間、本事業の目的や本質、といった部分の周知・啓発は十分とは言えなかった、と考えておりました、「サクラの木を植樹するためにその他樹木を伐採する。」という単純なものでは決してなく、そこには「史跡『玉川上水』の適正管理」という観点もあり、その二重構造になっている辺りが本質を見えづらくしてしまっている部分もありますが、その先には、「サクラを中心とした多様な草花からなる豊かな生物多様性空間の実現」を目指している事業である、という部分は、先ほど亀山委員長からもご指摘いただいた部分でございますので、我々としては、そういった部分も含めた事業効果、というものを詰めていかなければいけない、と考えています。</p> <p>ただし、どうしても考え方の異なる方々はいらっしゃると思いますので、その辺は今後も、丁寧な話し合いを続けながら事業の進捗を図っていく、という話になるのかな、と考えております。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>小金井市域に関して言えば、小平市との市境のエリアは未だ未整備の状態ですが、それ以外のエリアについては、整備事業はほぼ終わっている状況ですし、そういう意味では、これまでの進捗状況で言えば、目指す部分は一定達成できている、ということとは言えると考えます。</p> <p>もちろん同時に、これ以降の進捗については、現状ではなかなか難しい、ということも言えますが。</p> <p>これから、本事業の中で植樹したサクラの苗木が成長し、玉川上水沿いで花見ができるような状況になってくると、また状況が変わってくるのでは、という気もしていますが、やはりそれまでにはもう少し時間が必要だと思えます。</p> |
| <p>椎名委員</p> | <p>モノを見て理解を求める、というのでは、やはり遅すぎる、という気はしていますが。例えば小平市域の状況は、その時期を待っている手</p> |

| | |
|--------------|---|
| <p>亀山委員長</p> | <p>遅れになるのでは、と思いますし。</p> <p>やはり「ヤマザクラを中心とした豊かな生物多様性」というものは間違いなくある、ということをお訴え続けていくことしかないと思います。</p> <p>「豊かな生物多様性を維持しながら、同時に文化財の保護も行っていく。」という本事業の本質を、論理的に実証した上で、広く理解を求めていく、それしかないと思いますし、そのための色々な工夫を行っていく必要があると思います。</p> <p>小金井市域に関して言えば、ある程度は当初の事業目的を達成できている、と言えるのですが、やはり小平市域が、あのような形で放置状態のままでは、すぐにはそのような事態にはならなくても、いずれは史跡の法面の崩壊が起こってしまいますので、長期的には大きな課題になるでしょうし、現状が続くのであれば、その頃にはサクラの木も相当枯れてしまうでしょうから、大変大きな損失になってしまうのではないかと危惧しています。</p> <p>もちろん他市のことですので、どうしようもない、ということも間違いはないのですが、大変気の毒、という思いは禁じ得ませんし、「もう少しこの問題にきちんと向き合った方がいいのでは。」ということはお申し上げたい、という気がします。</p> <p>この場で申し上げたところで何が変わるわけではない、ということはもちろん理解していますし、今後時間の経過とともに変わっていく小金井市内の状況を見ていただくことで、「あるべき姿」に気付いていただくことを期待するしかないのかな、と思います。</p> |
| <p>椎名委員</p> | <p>やはりどうしても、整備事業開始前の、平成22年のデータを根拠に考えてしまっている、というのが一因だと思います。ただ実際は、その後現在までの間に、生態学もかなり進歩してきていますし、様々なことがわかってきています。やはり、そういった成果も活用しつつ、皆さんに本事業に関する理解を深めていただく、ということ必要なのではないかと考えます。</p> <p>もちろん、小金井市の力でそれがどこまでできるのか、という問題がありますが、やはり新しい小平市長に、その辺りのことをご説明させていただいた上で協力を求めていく、というのは1つの方策だと思います。もちろん誰がその役を担うのか、という問題がありますが、「小平市長＝慎重派」という先入観に捉われず、話し合いを行う必要はあると思います。もちろん、そのような場には、東京都も同席していただく必要もあるでしょう。</p> <p>少なくとも茜屋橋までの区間については、小金井市も協力を求めている当事者、という立場でもありますので。もちろん、その後どうなるのか、というのは別の問題ですが。</p> <p>最低限の下草刈り等を行っている小金井市側のエリアには、30メートル前後のニリンソウの大群集ができています。</p> |

| | |
|-------------------------|--|
| <p>関生涯学習課長</p> | <p>小平市域については、見たところ、小金井市域と接している茜屋橋までの区間で、数回に渡り、明らかに伐採を行った痕跡があります。おそらくですが、東京都水道局が、住民要望を受けて伐採を行ったものと思われる。やはりそういった事実にも、しっかりと目を向けていかなければならないと思います。</p> <p>今後につきましては、全体の7割前後のエリアではございますが、両側が小金井市域内になっているエリアにつきましては、おかげ様で整備事業は順調に進めることができている、ということもございますので、他市と隣接しているエリアにつきましては、今後小金井市域内において本事業の事業効果が明らかになってくる中で、徐々にご理解を得ることができれば、と思っておりますので、そういった意味では、今後も小金井市域内において適切な管理・適切な補植を進めていくことで、より事業効果を高めていくことに注力しつつ、難しいこととは承知していますが、慎重なご意見をお持ちの方々にも、今後も丁寧な説明に努めていくことを通して、少しでもご理解をいただけるように努めてまいりたいと考えております。</p> |
| <p>亀山委員長 (委員全員)</p> | <p>それでは、本件につきましては以上でよろしいでしょうか？</p> <p>(異議なし)</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>それでは、最後に「議題(4) 名勝指定100周年記念事業に向けて」についてご説明をお願いします。</p> |
| <p>碓井係長</p> | <p>それでは、名勝指定100周年記念事業につきまして私の方からご説明させていただきます。</p> <p>1924年(大正13年)12月9日に国の名勝指定を受けた小金井桜は、2年後の2024年(令和6年)に名勝指定100周年を迎えます。</p> <p>現在、市では、節目の年を彩る記念事業「100周年記念式典事業」を計画させていただいております。</p> <p>市といたしましては、こちらの式典につきましては、公民連携・官民協働で企画・運営を行っていただければ、と考えさせていただいており、過日令和4年9月28日(水)に、市内の代表的な事業者団体・奉仕団体の代表者の皆様にお集まりいただき、実行委員会の立ち上げに向けた説明会を開催させていただきましたことをご報告させていただきます。</p> <p>今後につきましては、年内を目途に実行委員会を立ち上げさせていただき、記念式典事業並びに機運醸成のための関連事業の具体的な内容につきまして検討を行っていく予定でございます。</p> <p>以上、雑駁ではございますが、私からの説明を終わらせていただきます。</p> |

| | |
|-------|--|
| 亀山委員長 | 市として、「100周年記念式典事業」を行うために実行委員会を立ち上げた、という理解でよいでしょうか？ |
| 碓井係長 | いいえ。実行委員会はこれから立ち上げを行う予定です。9月に実施させていただきましたのは、実行委員会の発足に向けた説明会、という位置づけで、現在、その説明会を受けまして、実行委員会へのご参加に関する各団体のご意向を確認させていただいている、という状況でございます。 |
| 亀山委員長 | よくある「準備委員会」のような位置づけ、ということですね？ |
| 碓井係長 | はい、その通りです。 |
| 亀山委員長 | で、「記念式典」は開催したい、と、そういう話になっているわけですね？ |
| 碓井係長 | その通りです。 |
| 亀山委員長 | その上で、その他の関連事業に関して、「何を、どのようにやるのか」について、本委員会の委員の皆様のご意見をお伺いしたい、ということでもよろしかったでしょうか？式典の内容について、委員の皆様にご意見を伺っても、あまり実のある議論にはならないような気がしますが。 ちなみに、本件を本委員会の議題とした趣旨は何なのでしょう？ |
| 碓井係長 | はい。式典や関連事業の具体的な内容につきましては、今後、実行委員会の場において詰めさせていただくべき事項、と認識しておりますが、本整備事業全体の中で、100周年を迎えるに当たり、改善すべき点や、小金井桜や玉川上水の現状が、果たして100周年の節目を迎えるのに相応しい状態と言えるのか、といった部分について、専門的な見地から、ご意見をいただければ、と考えております。 |
| 亀山委員長 | まず、市長からの挨拶があるような、いわゆる「記念式典」については、本委員会からは特段意見を申し上げるべきものではない、と考えていますが、その他の関連事業…何か良い案はございますか？ |
| 椎名委員 | この記念事業は、小金井市単独で実施する事業なのでしょうか？或いは、他の沿岸市とも共同で行うものなのでしょうか？ |
| 亀山委員長 | それは大変大きな違いになりますね。 |
| 椎名委員 | 先ほどの「議題(3) 令和5年度の事業計画について」に関する議論の |

| | |
|----------------|---|
| <p>関生涯学習課長</p> | <p>中で話の出た「他の沿岸市との関係性」という部分で、良いきっかけになり得る話だと思います。</p> <p>よろしいでしょうか？</p> <p>本議題につきましては、事務局といたしましては、今、本委員会の場において、記念事業の内容について何かご意見をいただきたい、と言うよりも、2年後に名勝指定100周年を迎えるに当たって、記念事業を行っていききたい、それに向けての実行委員会の立ち上げの準備を行っている、その状況報告、と考えさせていただいております、「何をやるのか。」というのは実行委員会マターであり、実行委員会の場において議論されるべき内容、と考えております。</p> <p>本委員会につきましては、記念事業につきましては、必要に応じて、その経過をご報告させていただきたい、と考えております、その時々委員の皆様からご意見をいただければ、と考えております。</p> <p>また、この記念事業は、椎名委員よりご指摘いただきました、本事業に関する周知・理解という部分にも繋がるのではないかと、とも考えており、現時点では、実行委員会へのご参加の呼びかけをさせていただいているのは、小金井市内の事業者団体・奉仕団体のみとなっておりますが、今後実行委員会を進めていくに当たっては、実行委員会にご参加いただく団体につきまして、他の沿岸市や、東京都も加えていく、そういったことも視野に入れていきたい、という思いは持っております。</p> <p>いずれにいたしましても、「100周年」を1つの契機として、小金井市内に国指定の「名勝」があること、及びその文化財としての価値を小金井市内はもちろん、近隣他市も含めて、より幅広く知っていただく絶好の機会と考えておりますので、その趣旨を踏まえた上で記念事業を執り行うことができれば、と考えております。</p> <p>今後も、進捗状況につきましては、本委員会の中でも都度々々ご報告させていただきますので、委員の皆様におかれましては、必要に応じてご意見をいただければ、と考えております。</p> <p>本日は、「記念事業」の実施に向けて動き始めた、ということ、委員の皆様にご承知おきいただけましたら、と考えておりますので、何卒よろしくお願いいたします。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>先ほど椎名委員からご指摘いただいた内容は、大変重要なことで、「名勝小金井桜」は、小金井市・小平市・武蔵野市・西東京市の4市に跨っているわけで、実行委員会を立ち上げる際に、4市の事業として実施するのか、或いは小金井市単独の事業として実施するのかによって、意味合いが全く異なってきます。</p> <p>例えばこの話を契機に、他の沿岸市に、「100周年記念事業を一緒にやりませんか。」と声を掛ければ、断られることはないと思いますし、それをきっかけに本件に関して言えば、決して良好とは言えない近隣の他の沿岸市との関係の改善にも繋がっていくのではないかと、考えま</p> |

| | |
|----------------|---|
| <p>関生涯学習課長</p> | <p>す。逆に、この記念事業を小金井市単独で実施してしまうと、今以上に関係性が冷え切ってしまうことにもなりかねない、という危惧も持っています。</p> <p>記念事業の実施について、他の沿岸市との情報共有はできているのでしょうか？</p> <p>小金井市として、記念事業を計画していることにつきましては、沿岸4市が集まる場、というのは正直あまりないのですが、東京都水道局・東京都教育庁・小平市・小金井市が集まる定例会議の場においては既に報告しておりますし、必要に応じてご協力をいただきたい旨のお願いもしております。</p> <p>まずは、沿岸4市の中で、整備事業が進んでいる小金井市が発信すべき、と考えておりますが、「名勝指定100周年」と言うのは、決して小金井市だけの話ではなく、4市に跨る事業である、と考えておりますので、小金井市が単独で記念事業を推し進めていく、ということについては、想定外のハレーションが起きる可能性もある、ということは、今委員の皆様のご意見をお伺いさせていただく中で、改めて感じたところです。</p> <p>しかしながら、記念事業は始まったばかり、いや、これから始まるもの、と認識しておりますので、他市との関係性、という部分で、今後どのように進めていくのかについては、本日委員の皆様からいただいたご意見も参考にさせていただきながら、4市の皆様に改めてお声掛けをさせていただくことを含めて、ご理解をいただけるように丁寧に進めてまいりたいと考えております。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>「これから、小金井市として記念事業を始めます。」という形よりも、「4市で一緒にやりましょう。」という呼び掛けを、最初の段階で行う方が良い気がしています。同時に、東京都へも実行委員会への参加の呼び掛けを行えば、東京都も参加する記念事業に、小金井市以外の3市は、「参加しない」という選択肢を取ることはできないのでは、と思います。</p> |
| <p>椎名委員</p> | <p>この記念事業については、他市との関係性の改善、という点において本当に良い機会にできるのでは、と考えています。桜のないエリアについても、玉川上水自体は羽村市から流れているわけで、関係市はたくさんありますので、市長会にも話をし、オーソライズしてもらうことも考えても良いのでは、と思います。</p> <p>エンジンを掛けるのは小金井市でよいと思いますが、4市に限らず多くの市を巻き込んでいくべきと考えます。</p> |
| <p>関生涯学習課長</p> | <p>まさにご指摘をいただいた通りであると考えています。いきなり広げる、ということは難しいとしても、核となる組織をきちんと立ち上げた上で広げていく、ということは重要であると考えております。</p> |

| | |
|--------------|---|
| | <p>より多くの方に、この整備事業について知っていただく、ということも、本記念事業を行う上での1つの大きな大義、と考えておりますので、どのように関わっていただくか、という部分については、また色々なご意見があることと思いますが、何分実行委員会の立ち上げ自体がこれから、という状況ですので、これからの検討になりますが、今日いただいたご意見も参考に考えてまいりたいと思います。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>最初が肝心で、最初の段階で4市に声掛けを行えば、4市の立場としても参加しやすいと考えるが、かなり話が進んだ段階で声掛けをされても、中々出にくいところもあるのでは、と考えますので、とにかく最初が肝心であろう、と考えます。</p> |
| <p>椎名委員</p> | <p>パブリシティの部分でも、かなり価値のある話になりますので、そういう部分はきちんとしておいた方が良く、と思います。事業全体をしっかりと構築し、大きな事業にしていくべき、と考えます。</p> <p>協力を呼び掛けられて、断る、という判断はなかなかしづらい事業だろうと考えますので、その辺も踏まえて事業を進めていくべき、と考えます。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>「2025年3月に、大規模な花見を行う」「記念冊子の作成を行う」等、色々な事業を考えていかれると良い、と考えています。</p> |
| <p>椎名委員</p> | <p>年度初めで、色々大変なことと思いますが、桜の開花の時期に合わせて、色々な事業を実施できれば、と考えます。</p> <p>市の直営事業として行うのは難しくても、記念事業を実施するための団体を設立すれば、会計年度の縛りもなく済むと思います。</p> |
| <p>伊東委員</p> | <p>よろしいでしょうか？</p> <p>せっかく「100周年記念事業」として事業を実施するのであれば、「次の50年、100年に向けた事業」という観点で、例えば経年劣化した手すり等の修繕を行うとか、崩壊してしまっている法面の補修を行うとか、そういう方向性の事業の計画を上げていく、という考えはないのでしょうか？</p> <p>せっかくの機会ですので、50年後、100年後の玉川上水・小金井桜を見据え、よりよくしていくための事業を上げていく、そのチャンスとすべきと考えます。</p> <p>例えば30年後、50年後など、目標年限と到達点を決めていく、という所まで掲げることができればベストであろうと思います。</p> |
| <p>椎名委員</p> | <p>「史跡」の適正管理、という部分は必要だと考えます。</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>「名勝」のみを対象とする記念事業ではなく、「史跡」も含めること</p> |

| | |
|------------------|---|
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>ができるという、と考へます。</p> <p>10年間の整備事業についての記録、としての冊子の作成を考へるとする場合、冊子の作成には編集作業等に一定の時間を要するので、早めに準備を始める必要があると思へます。これは、10年間続けてきた整備事業の1つの成果となるので、しっかりとしたものを作成し、残していくべき、と考へます。</p> <p>先日ドローンによる撮影を行った、という話もありましたが、例へば2024年時点の桜の状態をドローン撮影し、そのデータを残していくことができれば、それも1つ大きな記念になるのではないかと考へます。</p> <p>令和4年4月に、民間企業による事業となりますが、小金井桜のドローン撮影が行われています。</p> <p>全国の桜の名所のドローン撮影を行う、というプロジェクトの一環として行われた事業で、都内では小金井市が選ばれた、という形ではありましたが、今後はその事業者の担当者とも相談しながら、2024年に合わせて再度ドローン撮影を行うのか、については協議してまいりたいと考へておりますし、そもそもその時に桜が綺麗な状態でなければ撮影の意義も半減してしまう、と考へておりますので、記念事業ももちろん重要ですが、日々の整備事業についてもしっかりと行っていく必要がある、と考へており、近々の目標として、1年後、2年後、3年後にしっかりと景観が整っている、という状態を目指していきたいと考へております。</p> |
| <p>伊 東 委 員</p> | <p>2024年にドローン撮影を行うことができた場合、その時に整備区間と合わせて、未整備区間についても撮影してはどうでしょうか？整備事業の成果を分かりやすく見せる、という効果はあるかもしれませんが、整備事業を行っていない市には嫌がられてしまうかもしれませんね。</p> |
| <p>高木主任(学芸員)</p> | <p>上空からの撮影ですと、その部分はとてもはっきりと分かると思へます。</p> |
| <p>伊 東 委 員</p> | <p>整備事業を行っていない市は嫌がるかもしれませんが、整備事業の宣伝効果は抜群だと思いますが、やはり難しいでしょうか？</p> |
| <p>亀山委員長</p> | <p>記念事業の中身ももちろん大切ですが、まずは、実行委員会の立ち上げに際しては、他の沿岸市にもしっかりと参加の呼び掛け、働きかけを行って、その上で具体的にどのような事業を行うのかについては、今後色々なご意見を聴きながら決めていけばよい、と考へます。</p> <p>「小金井桜」のルーツである吉野山の桜は、最近の状況は分かりませんが、以前は、花見シーズンは大変賑わっていて、花見団子の売り上げ</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>だけで1年間分を賄えるくらいの利益が上がった、という話を聞きますが、例えばそのような「名物」を作る、というのも1つの案だと思います。</p> <p>かつて、花見シーズンに江戸から多くの人が花見に訪れていた時代に、何かそのような「名物」はなかったのでしょうか？</p> |
| 伊 東 委 員 | <p>リピーターの心を掴むためには、やはり「食べ物」のいうものは重要なファクターとなる。</p> |
| 亀 山 委 員 長 | <p>何か「小金井名物」のような食べ物はないのでしょうか？</p> |
| 伊 東 委 員 | <p>当然何かあったらと思うし、現在なければ何か作れば良い、と思います。</p> |
| 亀 山 委 員 長 | <p>かつてあった料亭で出していた物、とか良いのではないですか？</p> |
| 伊 東 委 員 | <p>そうですね。</p> |
| 高木主任(学芸員) | <p>当時、小金井橋の袂に「柏屋」という店があり、当時は皆がそこを目指した、と言われていました。</p> <p>かつて、明治天皇が行幸に訪れていた時代などは、玉川上水付近にも臨時の飲食店が多く出店し、1年間分の利益を賄っていた、という史実はあるのですが、「小金井名物」と呼べるようなものは、記録上もなかなか見当たらない、というのが実情で、むしろ味の面については観光客の評判があまり良くはなかった、という記事もあつたりします。</p> <p>そういう意味では、「柏屋」は佇まいの面でも、味の面でも別格だった、ということと言えると思います。</p> |
| 椎 名 委 員 | <p>現在ガソリンスタンドを経営している奥の家が「柏屋」の末裔ですか？</p> |
| 高木主任(学芸員) | <p>その通りです。</p> |
| 椎 名 委 員 | <p>それならば、古文書等の古い資料が残っているのでは？</p> |
| 高木主任(学芸員) | <p>その可能性はあると思います。建物自体も、古い家屋を引き家して残っているものですので。</p> |
| 椎 名 委 員 | <p>さらに言えば、近辺にある海岸寺にも古い資料が残っているかもしれない。</p> |
| 高木主任(学芸員) | <p>海岸寺については、現状は小平市域ではありますが、何らかの資料が</p> |

| | |
|-----------|--|
| | 残っている可能性は高いと考えます。 |
| 椎名委員 | 確かに海岸寺は小平市内ではありますが、だからこそ小平市にとっても、小金井桜とは縁がある、と言えると思います。例えば、小平市には「御幸町」という地名がありますが、その由来は明治天皇が行幸に訪れたことに依るものです。 |
| 伊東委員 | 過去の名物を復元するのも良いですが、記念事業をきっかけに新しい名物を作る試みとして、市内のお店に声掛けを行い、コンペの類の事業を行い、上位になった物を名物として売り出す、というのはどうでしょうか？ |
| 亀山委員長 | おそらく実行委員会には商店会の方も入ると思いますので、話をしてみると良いと思います。 |
| 椎名委員 | 1つの試みとして川崎平右衛門にスポットを当てた事業を行えば、府中市の協力も得やすくなるのでは。 川崎平右衛門は歴史上有名、とは言えないかもしれませんが、小金井桜にとっても、武蔵野エリアにおける新田開発にとっても非常に重要なキーパーソンであったことは間違い無いと思います。 |
| 伊東委員 | 川崎平右衛門と言えば、石見銀山の関係で島根県大田市にも所縁ありますし、コラボ事業を呼び掛けても面白いかもしれません。 |
| 椎名委員 | 他にも、渋沢栄一、樋口一葉、田山花袋等、玉川上水・小金井桜に縁のある著名人は多いので、そのような観点から検証してみることも面白いかもしれません。 |
| 亀山委員長 | それでは、本件につきましては以上でよろしいでしょうか？ |
| (委員全員) | (異議なし) |
| 亀山委員長 | それでは、最後に「3 次回の会議日程」、及び本日配布のその他資料についてご説明をお願いします。 |
| 高木主任(学芸員) | それでは、「小金井市 秋の文化財イベント情報」につきまして、私の方からご説明させていただきます。 まず、2年後の「名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年記念」に向けての機運醸成、という観点から、今年度の文化財講演会は「名勝小金井桜の誕生」というタイトルで、小金井桜の誕生から、大正13年の名勝指定に至るまでの歴史を振り返る内容で、渋沢史料館の学芸員の清水先生にお話をお伺いさせていただくことを予定しております。 |

| | |
|-------|---|
| | <p>講演会では、明治天皇の行幸や、大正時代の名勝指定に至る過程での渋沢栄一との関係等、明治・大正の時代に桜の保護活動がどのように進められてきたのか、そしてそれが名勝指定にどのような影響を与えたのか等、これまでなかなか語られることのなかった部分のお話をさせていただけるものと思っています。</p> <p>講演会は令和4年11月25日（金）の18：30より行います。</p> <p>そして今後も、機運醸成のための様々なイベント等の取組を行っていきたいと考えております。</p> |
| 亀山委員長 | <p>最後に次回開催日程についてご説明をお願いします。</p> |
| 碓井係長 | <p>次回の会議日程につきましては、令和5年2月頃の開催を予定しています。事務局では、候補日として2月10日（金）、17日（金）、24日（金）の3日間、いずれも午前10時からを考えさせていただいております。本日、委員の皆様の方でお決めいただけるようであれば日程確定とさせていただきますし、難しい場合は後日メールにてスケジュールの確認をしていただくことも可能ですが、いかがいたしましょうか？</p> |
| 亀山委員長 | <p>それでは、2月24日（金）午前10時からでお願いします。</p> |
| 碓井係長 | <p>畏まりました。それでは、次回会議につきましては、令和5年2月24日（金）午前10時からに決めさせていただきますので、委員の皆様におかれましては何卒よろしく願いいたします。</p> |
| 亀山委員長 | <p>以上で、会議を終了します。</p> |